

平成27年度 第1回 八幡市男女共同参画プラン懇話会
議事録

開催日時	平成27年8月20日(木) 午後2時00分開会～午後3時25分開会
開催場所	八幡市文化センター3階 第2講習室
会長	森川委員
出席者	岩崎委員、大隅委員、谷垣委員、能瀬委員、 村田委員、森川委員、山中委員、佐野委員 (以上8名)
欠席者	野田委員、浜野委員
議題	(1) 会長及び副会長の選任について (2) 八幡市男女共同参画プラン改訂と策定方法について ・経緯 ・策定方法と策定体制 ・策定スケジュール (3) 男女共同参画に関する市民・事業所意識調査概要(案)について (4) 懇話会のスケジュール予定(案)について (5) その他
資料	●八幡市資料 □八幡市男女共同参画推進条例 □八幡市男女共同参画プラン懇話会設置要綱 □第4次八幡市総合計画 後期基本計画<抜粋> □八幡市子ども・子育て支援事業計画 □資料1 □資料2 □調査票案・市民用 □調査票案・事業所用 ●京都府資料 □KYOのあけぼの(第3次)概要版

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 の 要 旨
事務局	1. 開会 (あいさつ)
事務局	2. 委嘱状の交付 (市長より各委員へ委嘱状の交付)
事務局	今、8名の方に委嘱状を交付したが、欠席されている2名の委員をご紹介させていただきたい。野田峰子委員は、人権擁護委員をされておりその代表でこられている。浜野令子委員は、京都府の男女共同参画センターの名誉館長として長年お勤めになられていた。本日お二人は欠席である。 続いて、市長よりごあいさつ申し上げたい。
市長	(あいさつ)
事務局	以上で八幡市男女共同参画プラン懇話会委員の委嘱状交付式を終了する。 市長については、ここで退席させていただく。
事務局	3. 議題 それでは、八幡市男女共同参画プラン懇話会第1回目を始めさせていただきたい。 初めに、各委員と事務局の自己紹介をお願いしたい。
各委員	(自己紹介)
事務局	(自己紹介)
事務局	それでは、本日配布している資料の確認をしたい。 (配布資料の確認)
	(1) 会長及び副会長の選任について

事務局	男女共同参画プラン懇話会設置要綱第4条に基づき、会長・副会長を選出することになっている。選出方法については、委員の互選によるとなっているが、皆さんからご意見はあるか。
B 委員	事務局一任でいかがか。
事務局	B 委員から事務局一任とのご意見をいただいたが、よろしいか。
委員一同	<異議なし>
事務局	それでは、事務局では、会長を森川委員にお願いしたいと考えている。よろしいか。
委員一同	<異議なし>
事務局	それから、会長が女性なので、男女共同参画ということで副会長は男性にお願いしたいと思っている。事務局では能瀬委員にお願いしたいと考えているが、よろしいか。
委員一同	<異議なし>
事務局	森川委員から会長のごあいさつをお願いしたい。
会長	(あいさつ)
事務局	これからの議事については、懇話会設置要綱第6条に基づき、会長が議長を務めるとなっている。会長、よろしく申し上げます。
会長	議題(2)に入る前に、これからの会議の公開、議事録の作成、確認方法等について事務局から説明と提案をいただきたい。
事務局	○公開の指針について提案 ○議事録作成、確認方法について提案 ○会議の傍聴、定員について提案
会長	ただいまの事務局からの提案について、ご意見はあるか。
J 委員	会議録の作成について、委員の氏名を入れるのか入れないのかのところか

	聞き取りにくかったので、もう一度お願いしたい。
事務局	会議録の作成は要約方式で、発言委員名は明記しないということである。「A委員」といった形になると思う。最終的に会長に確認をしていただき、それを公表するという考え方である。
会長	よろしいか。
J委員	会議録の公表は、情報公開の請求があった時にするのか、ホームページで公表するのか、どちらか。
事務局	これまでは予めホームページに掲載している。
J委員	今日以降話したことは、個人名は出ないが全部出ていくということか。
事務局	そうである。
会長	他にご意見はいかがか。ないようであれば、次にこの懇話会の委員の役割について確認しておきたい。事務局より説明願いたい。
事務局	○資料「八幡市男女共同参画プラン懇話会設置要綱」に基づき説明
会長	いかがか。議題に入らせていただいてよろしいか。 それでは、議題の議論に入らせていただきたい。
	(2) 八幡市男女共同参画プラン改訂と策定方法について
会長	議題(2)について、事務局より説明願いたい。
事務局	○資料1、別紙1に基づき説明
会長	事務局からの説明について、スケジュールとプランに分けて質問をお受けしたい。スケジュールは後ほどおうかがいする。策定方法等について、ご質問があればお受けしたい。 なければ、スケジュール等についてはいかがか。ないようであれば、次に進みたい。
	(3) 男女共同参画に関する市民・事業所意識調査概要(案)について

事務局	○資料「調査票案・事業所用」「調査票案・市民用」に基づき説明
会長	<p>事業所と市民に配布するアンケートについて説明をいただいたが、この中でこういう設問を増やしたほうがいいのではないか、また、こういう言い方をしたほうがいいのではないかといったご意見があれば、お願いしたい。</p> <p>だいたいの概要として、このような形で市民と事業所に早急に配布していただき、その結果に基づき懇話会を進めていきたいと思う。これを発送し、統計を取って進めていくという形でよろしいか。</p>
A 委員	<p>この内容で進めていただくことに異論はない。参考までに、自分でこのアンケートに回答してみた。市民用で約 20 分、事業所用で約 10 分の時間がかかった。男女共同参画については、私のほうが一般の方よりは少し知識がある。</p> <p>1 点、誤字と思われるものがある。市民用の問 25 の 1 行目「配偶者や恋人などから～」ではないのか。</p>
事務局	ご指摘ありがとうございます。
会長	<p>アンケートは時間がかかるようなので、一般の方々に読んでいただくのは大変かと思うが、これを基本的に参考にすることになるので、ご協力をお願いしたいと思う。</p> <p>他にあるか。</p>
G 委員	<p>市民用アンケートは無作為抽出で 2,000 人とある。これは、男女の比率を半々にするという考えはあるのか。極端に言うと、1,500 人が女性で 500 人が男性となるのではないか。</p> <p>それと、1 ページ目に年齢についての設問があるが、70 歳代が一番上になっている。80 歳代は考えていないのか。</p>
会長	事務局からご説明をお願いしたい。
事務局	<p>まず 1 点目の無作為抽出について、八幡市の住民基本台帳の中からランダムに抽出する。年代については、10 代、20 代、30 代、40 代、50 代と 60 代以上という括りで、そこからランダムに抽出する。男女比は 1,000 ずつの 2,000 である。</p> <p>年齢については、年代を配慮して数を割っている。例えば 10 代だと 16 歳以上なので男 100 名、女 100 名の合計 200 名としている。20 代は男 150、女 150 の 300、30 代は男 200、女 200 の 400、40 代も男 200、女 200 の 400、50 代は男 150、女 150 の 300、60 代以上は男 200、女 200 の 400 ということで、</p>

	合計 2,000 としている。
B 委員	八幡市の人口の 25% が 65 歳以上である。そのあたりの区切りを少し修正してはどうか。
事務局	ここについては議論をさせていただいた。前回との比較の関係もあり、この案を提示させていただいている。
B 委員	特にこういうことについての理解度と言うか、古い慣習がかなり残っている年代である。私どものシルバー人材センターには 560 人ほどいるが、平均年齢が 72 歳である。70 代はある程度別に考えないと、アンケートに偏りが出るとは思わないかという思いがある。65 歳以上から 70 歳ぐらいまでが団塊の世代なので、かなりのウエイトを占める。そのあたりの偏りを考慮いただいて、全体を変えなくても 60 代と 70 代の比率を勘案してはどうか。
事務局	70 代以上としたほうがよろしいか。
F 委員	私は、前回と同じで良いと思う。対象を同じにしておけば、今の世代と前回の世代の比較ができる。基礎を変えてしまうと、意識の変化が見えない。5 年経ったので、意識の変化を見るためには前回と同じほうが良い。もちろんおっしゃるように、実態は違うと思う。
会長	今のご意見について、どうか。事務局と委託業者で協議して検討していただくということではどうか。
A 委員	そういう決め方でいいのか。事務局一任という意思決定をここでするのがいいが、少なくとも今異論が出たので、それについてはどういう形になっても事務局一任でいいのかどうか確認しておいたほうがいいのではないか。
J 委員	事務局一任でも構わないが、中味をもう少し理解しておきたい。20 代が 300 で 30 代が 400 だが、その数字が多少違ってても統計的に言えば意識についてはそんなに問題ない。ただ、トータルした時に高齢者の数が 500 ということで、率が変わってくる。その時にどれに影響が出てくるのか。
事務局	高齢者の回答数が多くなると、市民全体の意見は、高齢者の意見に引っ張られる。基本的には年代別にクロスすることで、年代ごとの分析を行うことで、年代間の意識の違いを見ることはできると思う。ただ、オールトータルで見た時、市全体の考え方の中に、極端な話だが 60 代以上の方の意見が半分を占めていることになると、例えば性別役割分担意識について、仮に男性

	<p>は外で働くものだという意識が高齢者に強いとなれば、市全体の意見も、そちらに引っ張られてしまう可能性がある。そもそも人口比も高齢者の割合が高くなっているのです、それが実態を表しているという見方も当然できると思うが、市全体の数字を見る上では、高齢者の回答数が多いところを意識しながら見ていく必要はある。</p>
J 委員	<p>そういう観点から言うと、どうするつもりか。</p>
事務局	<p>先ほどのご発言にもあったように、打ち合わせの中で、前回との比較を考慮すると、抽出方法をあまり大きく変えないほうがいいだろうということまで話をしている。基本的には、割り当て方法や抽出方法は、前回は踏襲するというで考えている。</p>
B 委員	<p>結果が出てきて、それがどうなるのかということが重要である。ただ、70代と60代を一緒にすることには懸念がある。</p>
G 委員	<p>もう一点よろしいか。事業所の調査は、回答はどういう方にお願ひしますという書き方はされないのか。セクハラ等の設問については、男性は自分はやってないという認識でも、女性からすれば違うと思う。回答をどういふ方にお願ひするのか、お考えはあるのか。あるとすればどういふ方か。</p>
事務局	<p>基本的にセクハラ等の相談を受ける部門は総務か人事なので、表紙に回答については総務もしくは人事の担当の方にご記入をお願ひする表記はしている。</p>
A 委員	<p>会社の取組みについては、会社全体としてコンセンサスを持っていると思う。代表の近くにいる、その制度に携わっている人であれば、だいたい同じ答えになるだろうという解釈か。</p>
事務局	<p>会社にも色々あるので、そこは難しいところかと思う。</p>
J 委員	<p>問 29（市民用）そのものは要らないのではないか。</p>
事務局	<p>問 29 の選択肢に「必要ない」を最後につければ済む話かもしれない。そういう意味では、問 29 を省くことは可能かと思う。全体的に設問量を減らすという趣旨で、そのあたりの整理も考えたい。</p>
F 委員	<p>それでは、事業所用調査票 1 ページの「3. 育児休業制度を導入している」と「4. 育児のため休暇が必要な従業員の希望は聞き入れている」は、どち</p>

	<p>らかにしてもいいのではないか。</p>
A 委員	<p>制度として持っているのと、従業員の希望を聞くということは別である。制度がなくても、希望を聞いてもらって取ることができる場合もある。</p>
F 委員	<p>育児休業制度は導入していないが、育児のため休暇が必要な従業員の希望は聞き入れているという意味か。</p>
事務局	<p>そうである。</p>
B 委員	<p>この5年間で大分違いが出てきていると思う。</p>
会長	<p>E委員はどのように思われるか。子育てをしながら働いているとおっしゃっていたが。</p>
E 委員	<p>私はパートで、勤務した分しか給料が出ない。社長が良い方なので、子どもに熱が出た場合等はできれば前日に電話し、正社員の方が全部カバーしてくれている。オーナーからすれば、正社員は給料もボーナスも出しているという頭がある。</p>
会長	<p>立場や働き方によって、それぞれ違ってくるといことか。</p>
E 委員	<p>そうである。正社員になってはどうかと言われたが、8時30分から5時までは働けなかったので、パートにしてもらっている。</p>
会長	<p>事業所関係については、5年前と現在では状況は随分変わってきているのではないか。5年前に「マタハラ」なんて聞いたことがなかった。前回のアンケートを踏襲していくことも非常に大切だと思うし、参考になると思うが、今色々出たご意見を踏まえて、こういうところを考えていこうという点はあるか。</p>
事務局	<p>事業所については、就労形態そのものも変わってきていると思うし、それによって生じている問題も多岐にわたっている。また、法律や制度の面もそれらへの対応ということで、色々な取組みが行われている。そのような中で、事業所がその取組みに追いついているのかどうか、或いは事業所の意識そのものが変わってきているのかどうかというところを押さえない。行政としてなかなか事業所との接点は取りにくいとは思いますが、基本的な取組みは事業所でやっていただき、それに対する啓発は行政の仕事になってくる。今回のアンケートを通じて、なかなか取り組めない、或いは取り組んでいるが上手く</p>

	<p>前に進んでいないところに、具体的にどう働きかけて支援していくのかという課題を拾い出せればと考えている。</p>
B 委員	<p>市内で事業所は何社あるのか。</p>
事務局	<p>市で法人市民税の申告を受けているので、その部分で 1,200～1,300 は軽くあると思う。その中からピックアップしていきたい。</p>
委員	<p>大小様々か。</p>
事務局	<p>様々である。</p>
森川会長	<p>活発な意見を頂戴しているが、このアンケートは早急に発送して進めていくという観点から、是非ともこれだけは改めて欲しい、これだけは考えるべきということがあればこの場ですべて出していただき、あとはいただいたご意見を参考に事務局と委託業者で再度検討していただき、発送させていただくという形を取ってもよろしいか。A 委員、事業所代表としてはいかがか。</p>
A 委員	<p>私からは付け加えるところはない。</p>
事務局	<p>参考だが、市のホームページの「暮らし」をクリックして、人権・平和の男女共同参画のところを見ていただければ、5年前のアンケート結果が載っている。設問の幾つかはプランの成果指標として比較できるような形になっている。5年前の結果と今回の結果と 27 年度の目標値という形で出しているの、それだけは報告しておきたい。</p>
会長	<p>いかがか。そういう形を取らせていただいてもよろしいか。</p>
B 委員	<p>前回アンケートの回収率はどれぐらいだったのか。</p>
事務局	<p>20 何%である。八幡市の人口規模からいけば、500 取れば参考になる。そのあたりもホームページに載せている。</p>
森川会長	<p>事務局側からご意見があれば、今言える範囲で結構なのだろうか。特になければ、一任という形でよろしいか。これだけは削除して欲しい、または入れて欲しいということがあればお願いしたい。</p> <p>ご意見がないようなので、一任という形をこの場で取らせていただきたい。事務局はよろしくお願ひしたい。アンケートができ次第配布して、結果を次回の懇話会で報告していただければ有難い。</p>

	<p>それでは続いて、議題（４）に進みたい。</p> <p>（４）懇話会のスケジュール予定（案）について</p>
会長	<p>スケジュールについて、事務局より説明願いたい。</p>
事務局	<p>○資料２に基づき説明</p>
会長	<p>できればスケジュール表に従って進めて欲しいと思うが、状況によって臨機応変に対応していただくということでお願いしたいと思う。</p> <p>スケジュールについてはいかがか。スケジュールについては、大まかにこういう形で進めるということによりよろしくお願いします。</p>
	<p>（５）その他</p>
会長	<p>その他について、何かあるか。事務局からはどうか。</p>
事務局	<p>特にはない。</p>
会長	<p>最後に、次回の懇話会の日程だが、ここに１０月、１１月のカレンダーを用意していただいている。ご都合の悪い日にちがあれば受けたまわりたい。</p>
事務局	<p>アンケートの回答返送後、１０月中旬以降に集計・分析となる。その関係で、１０月１８日の週と２５日の週の平日にお願いできればと考えている。この２週でどうしてもご都合の悪い日に、カレンダーに「×」を入れて提出いただき参考したいと思う。下に氏名を記入し、お帰り際にお渡しいただければ有難い。</p>
G 委員	<p>時間はどのぐらいか。</p>
事務局	<p>今日と同様に考えているが、「午前×」「午後×」という形で書いていただければ結構である。</p>
G 委員	<p>今分からないので、明日でもよいか。</p>
事務局	<p>後日でも結構である。</p>
森川会長	<p>お帰りの際に出していただくか、今日日程が分からない方は、後日早急に事務局に申し出ていただきたい。</p>

B 委員	10月だけでいいのか。
事務局	10月だけで結構である。
会長	<p>予定としては、10月18日の週、25日の週で書いていただくのがベストである。</p> <p>他に何かあれば、ご発言お願いしたい。よろしいか。</p> <p>長時間にわたりありがとうございました。また次回以降についても、よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、第1回の懇話会を終了させていただきたい。どうもありがとうございました。</p> <p>4. 閉会</p>